事前評価シート

担 当	
担当名 国県道担当	
作成年日日 平成26年9月30日	

事	業	名道路事業	(社会資本整備総合交付金事業)		
笛	所	名 一般県道学	園木花台本郷北方線(山下工区)	市町村名	宮崎市

実	実 施 方 法□補助 ■交付金 □県単							
事			全体事業費	国費	県 費	その他	一般財源	
	(百万円)		4, 000	2, 600	1, 400			
事	業	期	間	事業着手	目標完成年度			
#	未	州	旧月	H27	H35]		

総合長期計画上の位置付け ■有 □無

地域交通の確保

全体計画

一般県道学園木花台本郷北方線は、宮崎学園都市の中心部を起点とし、主要幹線である国道220 号南バイパスとを結ぶ延長約4.5kmの一般県道である。沿道周辺には大学や高校等の教育施設や 宮崎大学付属病院、住宅団地が立地していることから、全線が開通すれば、大幅な利便性の向上が期 待される。

事 業 目 的

宮崎市街地方面から災害拠点の役割を持つ宮崎大学医学部付属病院へのアクセス道路となるため、バイパスを整備することにより、大規模災害時の救助・救援ルートを確保する。また、周辺の主要渋 滞箇所の緩和を図る。

本工区の整備は、市内中心部へのアクセス強化、本県の防災力強化、都市近郊における円滑な移動の支援、および空港、高速 I C などの交通拠点へのアクセスを向上などに大きく寄与するものである。



事 前 評 価 シ ー ト

事	業	名	道路事業(社会資本整備総合交付金事業)
箇	所	名	一般県道 学園木花台本郷北方線 山下工区

(1) 事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点	評価点
#1 IE 1707IK		○国・県レベルの計画に関する事項	別表1)参照	8	6
成立性		・広域道路整備基本計画での位置付け			
		・1. 5車線的道路整備との関連性			
		・国家的プロジェクトとの関連性		8	6
		・国の重点施策との関連性	<u> </u>		U
	①上位計画との関連	・県のプロジェクトとの関連性	0		
	性に関する事項				4
		〇市町村レベルの計画に関する事項		4	4
		・市町村総合計画(建設計画)での位置付け	<u> </u>	4	4
		・都市マスタープランでの位置付け	0	4	4
		・市町村のプロジェクトとの関連性	別表3)参照	3	3
		○県総合長期計画に関する事項 ○他事業等との関連に関する事項	別表 4)参照	5	3
		・大規模公共施設関連道路	別衣 4 / 参照		
	②他事業との関連性	- 農林道一体整備道路			
	に関する事項	・他事業との関連性		5	3
		・市町村合併支援道路	0	1 ·	
		100111101人1及是叫			
	小 計			20	16
		○道路位置付け関する事項	別表5)参照	13	13
		・地域高規格道路			
		・都市計画道路	0	13	13
		・緊急輸送道路	0		
		○道路の機能に関する事項			12
		・地域高規格道路へのアクセス強化	0		
		・バス路線	0		
		・大型車とのすれ違い		4.0	4.0
		・孤立化する集落の解消		12	12
		・特殊車両指定道路			
		・ネットワーク形成			
		- 代替道路	O	40	10
		〇交流・連携の強化に関する事項	別表7)参照	ΙJ	Iδ
		・県際道路の整備			
		- 高速道路関連整備	0		
		・公共交通機関関連道路 ・物流拠点へのアクセス強化		13	13
	③事業による効果に	・観光地へのアクセス		10	10
	関する事項	・広域構想等に資する道路			
		A SHOW THE STORE OF THE SHOW T			
		〇生活環境を改善する事項	別表8)参照	11	- 11
必要性		・2・3次救急医療施設へのアクセス強化	0		
有効性		・防災点検要対策箇所			
		・渋滞対策プログラム箇所			4.4
		・歩行者の安全性向上	0	11	11
		- 雨量規制区間			
		・振動、騒音の緩和			
		○道路現況の改善に関する事項	別表9)参照	- 11	5
		小計	213X V / 9 KK	5	5
		· 交通量	0		
		· 混雑度		5	5
		• 通学路	0		
		小計	別表9)参照	6	0
		・事故多発区間		6	0
		・改良率	n:+		
		〇自然環境への影響に関する事項 自然環境(Qの地域または急地環境(Qの地域内の事業ではない)	別表10)参照	2	2
		・自然環境保全地域または緑地環境保全地域内の事業ではない	即車10)参照	8	6
	④環境への影響に関	○環境への配慮、保全に関する事項 ・緑化や景観	別表10)参照	2	2
	する事項	・建設副産物発生の抑制、再利用	$\overset{\circ}{\circ}$	2	2
		・生態系		2	
		・騒音・振動・水質汚濁	0	2	2
	小計	4		70	62
	⑤地元からの要望活	〇地元要望の熱意に関する事項	別表11)参照	5	5
	動に関する事項	・要望活動に関する事項	0	5	5
		〇合意形成の有無と住民参加への熱意に関する事項	別表12)参照	5	5
		・1.5車線的整備で地元合意が取られている			
実行性	⑥事業計画への住民	・1.5車線的整備で地元合意が取られている ・都市計画道路である	0		
実行性	⑥事業計画への住民 参加に関する事項	1.5車線的整備で地元合意が取られている都市計画道路である地元の協力体制が文書で報告済みである		- - - 5	5
実行性		・1.5車線的整備で地元合意が取られている・都市計画道路である・地元の協力体制が文書で報告済みである・区画整理事業、ほ場整備区域内である		5	5
実行性		1.5車線的整備で地元合意が取られている 都市計画道路である 地元の協力体制が文書で報告済みである		5	5
実行性		・1.5車線的整備で地元合意が取られている・都市計画道路である・地元の協力体制が文書で報告済みである・区画整理事業、ほ場整備区域内である		5	5

(2)事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	7. 7

(3)総合評価

評価項目]による判定結果		判	定	結	果	
重要度ランク	I	が担害者しして中华で外					
事業効率	B/C = 7.7	新規事業として実施可能					